

# 保育者養成における「弾き歌い演奏」の研究

## 「演奏技法」による楽曲のグループ化

A study of "Singing a Song and Playing the piano" in the Nursery Teacher Training Course:

- Grouping of music by "Playing technique"

飯泉祐美子(帝京科学大学)

Yumiko IIZUMI

### (要旨)

保育者養成課程で必須の「ピアノ弾き歌い演奏技術」獲得の一つの手段として、「こどものうた」を「演奏技法」という視点で分類することを試みた『保育者養成課程における「ピアノ弾き歌い演奏技術」獲得のための試み—演奏技法の分類—』(飯泉, 2016)に後続する研究である。

本論文では「演奏技法」ごとに、楽曲のグループ化を実施し、分類を試みた。楽曲のグループ化により「演奏技法」の系統性を示すことができ、今後の指導や助言、また学生が主体的に学習するための手掛かりの一助を得た。

### (キーワード)

保育者養成、弾き歌い、ピアノ演奏技術

## 1. はじめに

本研究は『保育者養成課程における「ピアノ弾き歌い演奏技術」獲得のための試み—演奏技法の分類—』(飯泉, 2016)によって明確になった結果をもとに、それに続く「演奏技法」ごとに楽曲のグループ化を試みたものである。

このグループ化によって保育者養成においてピアノ初心者や未経験者の主体的な学びの展開を期待できると考える。

## 2. 先行論文の概要と結果

### (1) 概要

『こどもの歌 200』(小林, 1975)を中心とし、「生活のうた」「季節のうた」「行事のうた」「あそびうた」及び本学学生が使用しているテキスト掲載曲、保育者養成課程で使用される保育テキスト、保育雑誌などから候補曲を選曲し、最終的に53曲とし「ピアノ演奏技法分類の整理」(飯泉, 2014)をもとに実施した。

分類のためのカテゴリーは以下のとおりである。

#### a. 主に右手の技法

技法—右1・・・2音の緊張—弛緩 ダウン・アップ  
奏法

技法—右2・・・1, 2, 3指のワン・ストローク奏  
法

- 技法一右 3・・・4本指のワン・ストローク奏法  
 技法一右 4・・・多音によるワン・ストローク奏法  
 技法一右 5・・・指間拡大の奏法及び類似の奏法  
 技法一右 6・・・連続するダウン・アップ奏法  
 技法一右 7・・・音の塊のワン・ストローク奏法（類似連続）  
 技法一右 8・・・装飾音の奏法  
 技法一右 9・・・同音反復連打奏法及び類似の奏法

#### b. 主に左手の技法

- 技法一左 1・・・3和音の分散奏法  
 技法一左 2・・・アルペルティ・バス奏法及びバス奏法  
 技法一左 3・・・オクターブ分散奏法  
 技法一左 4・・・三和音の重音(和音)奏法

#### c. 主に両手共通の技法

- 技法一両 I (右・左)・・・音階・半音階・順次進行・アルペジオ奏法  
 技法一両 2 (右・左)・・・1指の上越と潜行の奏法  
 技法一両 3 (右・左)・・・重音奏法  
 技法一両 4 (右・左)・・・多声的奏法  
 技法一両 5 (右・左)・・・腕の回転奏法  
 技法一両 6・・・両手一体型奏法

#### d. 主にソルフェージュ的理解と能力を要する技法

- 技法一ソ 1・・・付点音符・複付点音符等の奏法  
 技法一ソ 2・・・左右の手の違った音数の組合せ奏法  
 技法一ソ 3・・・シンコペーション奏法  
 技法一ソ 4・・・休符一体型リズムの奏法  
 技法一ソ 5・・・様々なアーティキュレーション奏法

## (2) 結果概要

右手の技法の最多出現は「右9」280回、左手の技法の最多出現は「左4」147回であった。それらに続く右手の多数出現の技法は「両3右」「右4」、左手の多数出現の技法は「ソ5」「左3」であった。

## (3) 前述論文より後続する課題

「演奏技法」は単体で出現するのではなく「技法」同士の絡みも含めて考えることが重要であると考察され、今後は「演奏技法出現の組み合わせによる類別」を進める必要性を感じた。また全体の出現回数よりも一楽曲中に占める出現順位のほうが楽曲を演奏するという意味で優位であると考え楽曲構成の詳細をみる必要性を感じた。

## 3. 右手の演奏技法の分類

### (1) 右手の演奏技法の概要

先の課題により楽曲の構成を演奏技法という視点から分類する。まず右手より行う。

表1は「右」技法の総出現回数の一覧表である。

出現回数第1位は「右9…同音反復連打奏法及び類似の奏法」である。26.6%という数字を示しており、全体の4分の1を占めていることがわかる。

つまり「右9」は必須の演奏技法であることが一目瞭然である。また、それに続く「両3右」(15.5%)、「右4」(14.2%)との合計が56.3%という数字を示しておりこの3つの技法の重要性がわかる。

ピアノを演奏するにあたり「飯泉(2014)」によれば1楽曲あたりに同時に出現する演奏技法は平均4技法であるので、この「右9」が最も多く出現する楽曲において、さらにそれに続く組み合わせの第2位に出現する技法についての分布を知る必要性がある。そこで次は「右9」を第1位とする楽曲の詳細を探る。

表1 「右」技法の総出現回数の一覧表

右 手 の 技 法	右1	76回	7.2%
	右2	49回	4.6%
	右3	33回	3.1%
	右4	149回	14.2%
	右5	5回	0.5%
	右6	5回	0.5%
	右7	17回	1.6%
	右8	13回	1.2%
	右9	280回	26.6%
両 手 共 通 の 技 法	両1右	31回	2.9%
	両2右	23回	2.2%
	両3右	163回	15.5%
	両4右	14回	1.3%
	両5右	7回	0.6%
	両6	0回	0%
ソ ル フ エ ー ジ ュ 的 技 法	ソル1	71回	6.7%
	ソル2	5回	0.5%
	ソル3	21回	2%
	ソル4	30回	2.8%
	ソル5	61回	5.8%
計		1053回	≒100%

表2 右9…同音反復連打奏法及び類似の奏法が第1位である楽曲群(計25曲)

右9が第1位の楽曲群	最も出現した技法(%)			2番目に出現した技法(%)				
まつぼっくり	右9	75	右4				18.8	
おべんとう	右9	66.7	右4	右5	両2右	両3右	ソ1	11.1
どんぐりころころ	右9	61.1	右3					11.1
おもちゃのチャチャチャ	右9	61.1	両1右					19.4
ちょうちゅう	右9	55	右1	右2	右4			27.3
おはようのうた	右9	54.5	右1	右4				18.2
山の音楽家	右9	52.2	右2					26.1
おなかのへるうた	右9	50	両3右					20
幸せなら手をたたこう	右9	50	右2					
あくしゅでこんにちは	右9	50	右4	右7	両2右	ソ1		12.5
お正月	右9	50	右4					
ありさんのおはなし	右9	48.3	右3					17.2
おかえりのうた	右9	40	両2右	ソ1				25
まめまき	右9	40	右4	右1	両4右			10
しゃぼん玉	右9	38.1	右4					28.6
こいのぼり	右9	37.5	両3右					31.3
ジングル・ベル	右9	36.4	両3右					27.3
ことりのうた	右9	34.8	右8					17.4
かたつむり	右9	31.3	右1	右4	ソ1			31.3
たきび	右9	30	右1					
とんぼのめがね	右9	26.7	右1	両3右	ソ5			13.3
いぬのおまわりさん	右9	26.1	ソ5					23.9
せんせいとおともだち	右9	33.3	両1右	両2右				22.2
とけいのうた	右9	25	ソ5					20
あめふりくまのこ	右9	20.5	右4	ソ1				17.9

(2) 右9…同音反復連打奏法及び類似の奏法が第1位である楽曲群(計25曲)の詳細

次の表2は「右9…同音反復連打奏法及び類似の奏法が第1位である楽曲群(計25曲)」の一覧表である。この表は第1位の「右9」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。

「右9」が第1位の楽曲25曲中11曲(44%)は、楽曲中における第1位の技法の占める割合がその一楽曲の構成の50%以上を占めている。これは「右9」技法が「ピアノ弾き歌い演奏技術」の中で特に重視されるものである事の裏付けとなり、また、早期の段階で獲得の必要な技法であることがわかる。

表3は表2における第2位に出現する技法で整理し並べなおしたものである。

第2位に出現する技法のベスト3のベスト1は「右4」(21%)、ベスト2は「両3右」(13%)「ソ1」(13%)となる。つまり、「右9」「右4」「両3右」「ソ1」を他の演奏技法より先行して獲得する事は、早期に「ピアノ弾き歌い演奏」のレパートリーを早期に増やしていくことが可能となると考えられる。

この二つの表より「右9」を軸とする演奏技法によるグループの集合が形成できる。

表3 右9が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

右9技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類 (%)						
かたつむり	右4	ソ1				31.3
しゃぼん玉	右4					28.6
ちょうちょう	右4	右1	右2			27.3
まつぼっくり	右4					18.8
おはようのうた	右4	右1				18.2
あめふりくまのこ	右4	ソ1				17.9
あくしゅでこんにちは	右4	右7	両2右	ソ1		12.5
おべんとう	右4	右5	両2右	両3右	ソ1	11.1
こいのぼり	両3右					31.3
ジングル・ベル	両3右					27.3
おなかのへるうた	両3右					20
とんぼのめがね	両3右	ソ5				13.3
おべんとう	両3右	右5	両2右	右4	ソ1	11.1
おかえりのうた	両2右	ソ1				25
せんせいとおともだち	両2右	両1右				22.2
あくしゅでこんにちは	両2右	右7	右4	ソ1		12.5
おべんとう	両2右	右5	右4	両3右	ソ1	11.1
かたつむり	ソ1	右4				31.3
おかえりのうた	ソ1	両2右				25
あめふりくまのこ	ソ1	右4				17.9
あくしゅでこんにちは	ソ1	右7	両2右	右4		12.5
おべんとう	ソ1	右4	両2右	両3右	右5	11.1
ちょうちょう	右1	右2	右4			27.3
まめまき	右1	両4右				10
おはようのうた	右1	右4				18.2
せんせいとおともだち	両1右	両2右				22.2
おもちゃのチャチャチャ	両1右					19.4
ありさんのおはなし	右3					17.2
どんぐりころころ	右3					11.1
ちょうちょう	右2	右4	右1			27.3
山の音楽家	右2					26.1
いぬのおまわりさん	ソ5					23.9
とけいのうた	ソ5					20
とんぼのめがね	ソ5	両3右				13.3
おべんとう	右5	右4	両2右	両3右	ソ1	11.1
まめまき	両4右	右1				10
ことりのうた	右8					17.4
あくしゅでこんにちは	右7	右4	両2右	ソ1		12.5
幸せなら手をたたこう	該当なし(1位のみ)					
お正月	該当なし(1位のみ)					
たきび	該当なし(1位のみ)					

(3) 両3右…重音奏法が第1位である楽曲群(11曲)の詳細

次の表4は総出現回数第2位の「両3右…重音奏法が第1位である楽曲群(11曲)」の技法全体の中の出現数の一覧表である。この表は「両3右」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。

「両3右」は「右9」と異なり、「両3右」が第1位の楽曲11曲中1曲(9%)のみ、楽曲中における第1位の技法の占める割合がその一楽曲の構成の50%以上を占めている。これは「右9」技法が第1位の場合の分布と異なる傾向にあるように思われる。しかし、表5の第2位の技法の出現を見ると「右9」「右4」が見られ、「右9」を第1位とする楽曲との関連もうかがえる。

表4 両3右…重音奏法が第1位である楽曲群(11曲)

両3右が第1位の楽曲群	最も出現した技法 (%)				2番目に出現した技法 (%)			
	両3右	両1右						
たなばたさま	両3右	両1右		50				50
かわいいかくれんぼ	両3右			44.8	右9			27.6
森のくまさん	両3右	ソ5		44.4	両2右			11.1
アイアイ	両3右			42.1	ソ3			26.3
おかあさん	両3右			33.3	右1	右4		19
あわてんぼうのサンタクロース	両3右			31.8	ソ4右			27.3
とんでったバナナ	両3右			29.8	右3			21.3
おんまはみんな	両3右			25.9	ソ1	ソ4右		22.2
朝の歌	両3右	右4	ソ1	25				
ふしぎなポケット	両3右	右7		22.2	右9			18.5
やぎさんゆうびん	両3右			20.8	右9	両5右		16.7

表5 両3右技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

両3右が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類 (%)				
かわいいかくれんぼ	右9			27.6
ふしぎなポケット	右9			18.5
やぎさんゆうびん	右9	両5右		16.7
おかあさん	右4	右1		19
とんでったバナナ	右3			21.3
おかあさん	右1	右4		19
やぎさんゆうびん	両5右	右9		16.7
森のくまさん	両2右			11.1
あわてんぼうのサンタクロース	ソ4			27.3
おんまはみんな	ソ4	ソ1		22.2
アイアイ	ソ3			26.3
おんまはみんな	ソ1	ソ4		22.2
たなばたさま	該当なし(1位のみ)			
朝の歌	該当なし(1位のみ)			

表6 右4…多音によるワン・ストローク奏法が第1位である楽曲群(12曲)

右4が第1位の楽曲群	最も出現した技法(%)				2番目に出現した技法(%)			
	右4				右9			
チューリップ	右4			54.5	右9			27.3
お正月	右4	右9		50				
めだかの学校	右4			46.2	右9			23.1
思い出のアルバム	右4			42.9	右9			28.6
まめまき	右4	右9		40	右1	両4右		10
おばけなんてないさ	右4			40	右9			25
うちゅうせんのうた	右4			40	右9			30
はるがきた	右4			37.5	右3	両3右		25
ゆき	右4			36.8	ソ1			31.6
さよならのうた	右4			33.3	右9			27.8
朝の歌	右4	両3右	ソ1	25				
ぞうさん	右4			23.8	右1	両3右	両4右	ソ4 14.3

(4) 右4…多音によるワン・ストローク奏法楽曲群(12曲)の詳細

表6は総出現回数第3位の「右4…多音によるワン・ストローク奏法が第1位である楽曲群(12曲)」の技法全体の中の出現数の一覧表である。この表は

「右4」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。

「右4」も「両3右」同様、「右9」と異なり、「右4」が第1位の楽曲12曲中2曲(17%)のみ、楽曲中における第1位の技法の占める割合がその一楽曲の構成の50%以上を占めている。

表7の第2位の技法の出現を見ると「右9」「両3右」が見られ、「右9」「両3右」を第1位とする楽曲との関連もうかがえる。

表7 右4技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

右4技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類 (%)				
うちゅうせんのうた	右9			30
さよならのうた	右9			27.8
チューリップ	右9			27.3
思い出のアルバム	右9			28.6
おばけなんてないさ	右9			25
めだかの学校	右9			23.1
はるがきた	右3	両3右		25
ぞうさん	右1	両3右	両4右	ソ4 14.3
まめまき	右1	両4右		10
ぞうさん	両4右	両3右	右1	ソ4 14.3
まめまき	両4右	右1		10
はるがきた	両3右	右3		25
ぞうさん	両3右	両4右	右1	ソ4 14.3
ぞうさん	ソ4	両3右	両4右	右1 14.3
ゆき	ソ1			31.6
朝の歌	該当なし(1位のみ)			
お正月	該当なし(1位のみ)			

4. 左手の演奏技法の分類

(1) 左手の演奏技法の概要

右手に続き、楽曲の構成を演奏技法という視点から左手の演奏技法を分類する。

表8は「左」技法の総出現回数の一覧表である。

出現回数第1位は「左4…三和音の重音(和音)奏法」である。29.8%という数字を示しており、全体の約3割を占めていることがわかる。

つまり「左4」は必須の演奏技法であることが一目瞭然である。また、それに続く「ソ5」(20.1%),「左3」(12.6%)との合計が62.5%という数字を示しており、弾き歌い楽曲の左手の演奏技法としてこの3つの技法の重要性がわかる。「左3」に「左1」「左2」と続くがどちらも10%未満であり、さらにそれ以降は5%未満の出現率の演奏技法であることから、「左4」「ソ1」「左1」の3つの演奏技法は左手にとって必須のものであることがわかる。

表8 「左」技法の総出現回数の一覧表

左手の技法	左		%
	回数	割合	
左手の技法	左1	41回	8.3%
	左2	29回	5.9%
	左3	62回	12.6%
	左4	147回	29.8%
両手共通の技法	両1	9回	1.8%
	両2	4回	0.8%
	両3	49回	4.7%
	両4	0回	0%
	両5	15回	3%
	両6	10回	2%
ソルフェージュ的技法	ソ1	11回	2.2%
	ソ2	0回	0%
	ソ3	9回	1.8%
	ソ4	8回	1.6%
	ソ5	99回	20.1%
計	493	≒100%	

(2) 左4…三和音の重音(和音)奏法が第1位である楽曲群(計25曲)の詳細

次の表9は「左4…三和音の重音(和音)奏法が第1位である楽曲群(計31曲)」の一覧表である。この表は第1位の「左4」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。

「左4」が第1位の楽曲31曲中3曲は(10%)は、楽曲中における第1位の技法の占める割合が100%となっている。さらに18曲(58%)が楽曲中における第1位の技法の占める割合がその一楽曲の構成の

50%以上を占めている。「左4」技法が「ピアノ弾き歌い演奏技術」の中で特に重視され、早期の段階で獲得の必要な技法であることがわかる。

表9 左4…三和音の重音(和音)奏法が第1位である楽曲群(計25曲)

左4が第1位の楽曲群	最も出現した技法(%)			2番目に出現した技法(%)		
お正月	左4		100			
ジングル・ベル	左4		100			
あくしゅでこんにちは	左4		100			
ありさんのおはなし	左4		85.7	両1左		14.3
おべんとう	左4		80	左1		20
チューリップ	左4		80	ソ5		20
ちようちよう	左4		75	左2		25
歯をみがきましょう	左4		75	ソ1		25
幸せなら手をたたこう	左4		75	ソ5		25
せんせいとおともだち	左4		66.7	左3		16.7
おかえりのうた	左4		60	左2		40
おかあさん	左4		60	両3左		30
線路はつづくよどこまでも	左4		60	ソ5		20
しゃぼん玉	左4		57.1	左2		28.6
おなかのへるうた	左4		57.1	ソ5		28.6
めだかの学校	左4		55.6	両3左	両6口	ソ4 11.1
おもちゃのチャチャチャ	左4		54.5	左3		27.3
ぶんぶんぶん	左4		50	左2	ソ5	25
おはようのうた	左4		50	左3		33.3
さよならのうた	左4		50	左3		20
ぞうさん	左4		50	ソ5		33.3
うれしいひなまつり	左4		46.2	ソ3		23.1
うちゅうせんのうた	左4		44.4	左1		22.2
ことりのうた	左4	ソ5	41.7			
まつぼっくり	左4	左3	37.5			
ゆき	左4		37.5	両3左		25
いちねんせいになったら	左4		35.7	左1		21.4
あめふりくまのこ	左4		35	ソ1		30
朝の歌	左4	左1	33.3			
とんぼのめがね	左4	左1	28.6			
おつかいありさん	左4	ソ5	23.1			

表10 左4技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

左4技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類(%)					
おはようのうた	左3				33.3
おもちゃのチャチャチャ	左3				27.3
さよならのうた	左3				20
せんせいとおともだち	左3				16.7
おかえりのうた	左2				40
しゃぼん玉	左2				28.6
ちょうちょう	左2				25
ぶんぶんぶん	左2	ソ5			25
ぞうさん	ソ5				33.3
おなかのへるうた	ソ5				28.6
幸せなら手をたたこう	ソ5				25
ぶんぶんぶん	ソ5	左2			25
線路はつづくよどこまでも	ソ5				20
チューリップ	ソ5				20
めだかの学校	ソ5	両6口	ソ4	両3左	11.1
おかあさん	両3左				30
ゆき	両3左				25
めだかの学校	両3左	両6口	ソ4	ソ5	11.1
あめふりくまのこ	ソ1				30
歯をみがきましょう	ソ1				25
うちゅうせんのうた	左1				22.2
いちねんせいになったら	左1				21.4
おべんとう	左1				20
うれしいひなまつり	ソ3				23.1
めだかの学校	両6	両3左	ソ4	ソ5	11.1
めだかの学校	ソ4	両3左	両6	ソ5	11.1
ありさんのおはなし	両1左				14.3
ことりのうた	該当なし(1位のみ)				
まつぼっくり	該当なし(1位のみ)				
お正月	該当なし(1位のみ)				
ジングル・ベル	該当なし(1位のみ)				
あくしゅでこんにちは	該当なし(1位のみ)				
朝の歌	該当なし(1位のみ)				
とんぼのめがね	該当なし(1位のみ)				
おつかいありさん	該当なし(1位のみ)				

表10は「左4」に続く第2位の出現技法である。出現回数の2位「ソ5」3位「左3」が多く出現し「左4」「ソ5」「左3」の技法を同時に獲得する必要があることがわかる。

(3) ソ5…様々なアーティキュレーション奏法が第1位である楽曲群(計12曲)の詳細

次の表11は総出現回数第2位の「ソ5…様々なアーティキュレーション」が第1位である楽曲群(12曲)の技法全体の中の出現数の一覧表である。この表は「ソ5」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。また、表12は「ソ5が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類」である。

「ソ5」が第1位の楽曲12曲中4曲は(33%)は、楽曲中における第1位の技法の占める割合がその1楽曲の構成の50%以上を占めている。残りの8曲は技法の占める割合は50%以下であるが、占める割合の最小値21.4%という数値は、こどものうたの弾き歌い楽曲であっても「音楽的な表現」「音楽的な心情」の表現を求めていることがわかる。すなわち、早期の段階で獲得の必要な技法である。しかし「音楽的な表現」「音楽的な心情」の表現は初心者等ピアノ演奏をするときに指を動かすことに精一杯の学習者にとっては達成することが困難である。指導者はこの点に対し意識を持ち「音楽的な心情」等「感性的側面」を念頭におき指導に当たるべきであることがわかる。

表11 ソ5…様々なアーティキュレーション奏法が第1位である楽曲群(計12曲)

ソ5(左)が第1位の楽曲群	最も出現した技法(%)			2番目に出現した技法(%)		
まめまき	ソ5		55.6	ソ4		44.4
とんでったバナナ	ソ5		54.2	左3		25
やぎさんゆうびん	ソ5		50	左4	両3左	20
山の音楽家	ソ5	左3	50			
おぼけなんてないさ	ソ5		45.5	左4		36.4
ことりのうた	ソ5	左4	41.7			
こいのぼり	ソ5	左3	36.4			
森のくまさん	ソ5	両3左	29.4	左1		11.8
いぬのおまわりさん	ソ5		29.4	両3左		23.5
おつかいありさん	ソ5	左4	23.1			
とけいのうた	ソ5	ソ4	21.4	左3		

表12 ソ5が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

ソ5(左)が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類(%)				
まめまき	ソ4			44.4
おぼけなんてないさ	左4			36.4
やぎさんゆうびん	左4	両3左		20
いぬのおまわりさん	両3左			23.5
やぎさんゆうびん	両3左	左4		20
とんでったバナナ	左3			25
森のくまさん	左1			11.8
こりのうた	該当なし(1位のみ)			
こいのぼり	該当なし(1位のみ)			
おつかいありさん	該当なし(1位のみ)			
とけいのうた	該当なし(1位のみ)			
山の音楽家	該当なし(1位のみ)			

(4) 左3…オクターブ分散奏法が第1位である楽曲群(計7曲)の詳細

次の表13は「左3…オクターブ分散奏法が第1位である楽曲群(計7曲)」の一覧表である。この表は第1位の「左3」の一楽曲中に占める割合の高いものから整理、並べたものである。

「左3」は「ソ5」「左4」と異なり、「左3」が第1位の楽曲7曲中1曲(14%)のみ、楽曲中における第1位の技法の占める割合がその一楽曲の構成の50%以上を占めている。また、他の技法との絡みも少なくほとんどが単独である。これは他の上位出現回数となった左手の技法が第1位の場合の分布と異なる傾向にあるように思われる。

表8の出現回数からも、出現回数の上位5位までは数値的には5%を超えるが、そのほかの左手の演奏技法の出現回数は極端に少なく、本論では左手の技法は15種類としているが、残りの10種類の技法は5%未満となり、ほとんどが2%に近い数値を示している。

これは言い換えると、こどものうたの弾き歌いにおける左手による伴奏は「左4の三和音の重音(和音)

奏法」と「ソ5の様々なアーティキュレーション奏法」の2技法は早期の段階で意識的に獲得することの必要な技法であることがわかる。

表13 左3…オクターブ分散奏法が第1位である楽曲群(計7曲)

左3が第1位の楽曲群	最も出現した技法(%)			2番目に出現した技法(%)		
山の音楽家	左3	ソ5	50			
かたつむり	左3		42.9	左2		28.6
ふしぎなポケット	左3		40	左4	ソ5	20
まつぼっくり	左3	左4	37.5			
こいのぼり	左3	ソ5	36.4			
おはながわらった	左3	両5左	22.2			
とけいのうた	左3	ソ4	ソ5	21.4		

表14 左3技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法の分類

左3技法が第1位の楽曲群の第2位に出現した技法(%)						
かたつむり	左2					28.6
ふしぎなポケット	ソ5	左4				20
ふしぎなポケット	左4	ソ5				20
まつぼっくり	該当なし(1位のみ)					
こいのぼり	該当なし(1位のみ)					
おはながわらった	該当なし(1位のみ)					
とけいのうた	該当なし(1位のみ)					
山の音楽家	該当なし(1位のみ)					

5. 演奏技法によるグループ化

これまでの分類と飯泉(2016)をもとに演奏技法による楽曲のグループ化を行う。

(1) カテゴリーについて

「右手の技法」のグループ分けのカテゴリーは出現回数の上位であった「右9」「両3右」「右4」を基準のカテゴリーとし、単独、それら同士の組み合わせ



せ、または他の技法との組み合わせとした。単独のものは「右9」「両3右」「右4」、組み合わせのものは、略称を組み合わせ、「右9・両3右」「右9・右4」「両3右・右4」他の技法との組み合わせの場合は略称と「特」とし「右9・特」「両3右・特」「右4・特」とした。

「左手の技法」のグループ分けのカテゴリーは出現回数の上位であった「左4」「ソ5」「左3」を基準のカテゴリーとし、「右手の技法」と同様、単独、それら同士の組み合わせ、または他の技法との組み合わせとした。カテゴリーの名称も「右手の技法」と同様とし、単独のものは「左4」「ソ5」「左3」、組み合わせのものは略称を組み合わせ、「左4・ソ5」「左4・左3」「左4・特」「ソ5・左3」他の技法との組み合わせの場合は略称と「特」とし「ソ5・特」「左3特」とした。

(2) グループ化の方法

はじめに、1. で述べたカテゴリーによって「右手の技法」と「左手の技法」それぞれで行った。続いて両手の絡みを考慮した分類を行った。

これまで本論では、「右手の技法」「左手の技法」とした片手による側面から楽譜を考察、分類していた。しかし、本研究の最終的な目的は、保育者養成課程における「こどものうた」の弾き歌いの指導及び、その学習に際し、「演奏技法」を「着実に」「無駄なく」「効率よく」獲得していくことを実現する手がかりを得ることである。つまり、「こどものうた」の弾き歌いの場面で「右手の技法」「左手の技法」が単独で使用されることは大変少なく、「右手の技法」と「左手の技法」の絡みを含めてグループ化することが最も必要であると考えた。

そこでマトリクスに表しグループ化を実施した。

マトリクスは横軸に「右手の技法」のカテゴリー、縦軸に「楽曲名」および「調性」、マス内に「左手の技法」のカテゴリーとした。また、カテゴリーに属することのできない例外的な技法を「例外」とした。

マスの順序は分類のカテゴリーを優先とし、続いて調性も加味した。表15はグループ化のマトリクスである。

表15 グループ化のマトリクス

曲目	調性	右手の技法												
		右9	両3右	右9・右4	右9・特	両3右	両3右・右4	両3右・特	右4	右4・特	例外			
おもちゃのチャチャチャ	C	左4												
おかえりのうた	C	左4												
ありさんのおはなし	F	左4												
おなかのへるうた	D	左4												
おはようのうた	D	左4												
まつぼっくり	F	左4・ソ3												
山の音楽家	G	ソ5・左3												
どんぐりころころ	C	例外												
ジングル・ベル	G		左4											
とんぼのめがね	C		左4特											
こいのぼり	D		ソ5・左3											
ふしぎなポケット	G		左3特											
かわいいかくれんぼ	F		例外											
さよならのうた	C			左4										
うちゅうせんのうた	C			左4										
お正月	F			左4										
しゃぼん玉	D			左4										
あめふりくまのこ	D			左4特										
まめまき	D			ソ5										
思い出のアルバム	C			例外										
おばけなんてないさ	G			例外										
おべんとう	C				左4									
せんせいとおもちゃ	C				左4									
ちょうちん	F				左4									
幸せなら手をたたこう	F				左4									
あくしゅでこんにちは	D				左4									
こどりのうた	D				左4・ソ5									
いぬのおまわりさん	D				ソ5特									
どけいのうた	D				ソ5・左3									
かたつむり	D				左3特									
たきび	C				例外									
たなばたさま	F				例外									
朝の歌	C					左4特								
おかあさん	D							左4						
とんでったバナナ	C							ソ5						
やぎさんゆうびん	F							ソ5						
森のくまさん	C								ソ5特					
アイアイ	C								例外					
あわてんぼうのサンタクロース	F								例外					
おんまはみんな	Es								例外					
チューリップ	F									左4				
ぞうさん	F										左4			
めだかの学校	D											左4		
ゆき	F											左4特		
はるがきた	C												例外	
歯をみがきましょう	C													左4
ぶんぶんぶん	F													左4
線路は続くよどこまでも	G													左4
うれしいひなまつり	c													左4
いちねんせいになったら	F												左4特	
おつかいありさん	D												左4・ソ5	
おはながわらった	F												左3特	
うみ	G													例外

## 6. 結果と考察

全53曲のグループ化にあたり、「右手の技法」「左手の技法」それぞれ属することのできない「例外」の楽曲が11曲(21%)あった。また、どちらの技法にも属することのできないものが1曲(2%)あった。

そもそも本研究で使用した分類のカテゴリーは初心者のための演奏技法について述べた(飯泉, 2014)によるものであり、当然グループ化を実施する際に「例外」が20%もあらわれることは予想外であった。

これは、「こどものうた」のオリジナル楽曲を弾き歌い演奏することは決してたやすく易しいものばかりではなく、形だけ鍵盤上指を動かすことが出来たとしても楽曲の秘めた「音楽的側面」の表現まで達成するにはさらにスキルアップをする必要があるということであろう。

しかし、本研究によって「楽曲のグループ化」ができたことは、指導の際に、また、学生自身が自身で選曲し、練習していく際に、系統性が明確になったので手がかりはできた。

今後の指導助言の際の手掛かりとしたい。

## 7. 今後の課題

今後は「こどものうた」のオリジナル楽曲の弾き歌いに必要な「演奏技法」について「中級レベル」の「演奏技法」まで広げて楽曲構成の詳細や指導の手掛かりを考えていきたい。

## 8. 参考・使用楽譜・参考文献・資料

- 飯泉祐美子 (2014). 「保育者養成課程における「こどもの歌」の弾き歌いに関する研究(1)」. 『つくば国際短期大学紀要』. 40, 27-48.
- 飯泉祐美子 (2016). 「保育者養成課程における「ピアノ弾き歌い演奏技術」獲得のための試み—演奏技法の分類」. 『帝京科学大学教職指導研究：帝京科学大学教職センター紀要』. 1, 75-81.
- 神原正之, 鈴木恵津子(編) (2010). 『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』. 東京：教育芸術社.

小林美実(編) (1975). 『こどものうた 200』. 東京：チャイルド本社.

小林美実(編) (1996). 『続こどものうた 200』. 東京：チャイルド本社.

小林美実監修 井戸和秀(編) (1982). 『いろいろな伴奏で弾けるこどものうた 100』. 東京：チャイルド本社.

杉浦日出夫 (1987). 「第4章練習曲の効果的指導法」『最新ピアノ講座—5 ピアノ指導法』 (pp. 44-138). 東京：音楽之友社.